

第1学年 国語科学習指導案

令和7年11月10日

校名	A校	B校	C校	合計
児童数	9人	1人	10人	20人
指導者	A教諭	B教諭	C教諭	3人

授業者(T1) C教諭

単元・教材名	せつめいする文しょうをかこう 「じどうしゃずかんをつくろう」(光村図書 下P35~37)
本時の目標 本時(5/5)	<p>イ 自分が書いた「じどう車しょうかいカード」を事柄の順序に気を気を付けながら紹介しようとする。 【思考力・判断力・表現力】</p> <p>ウ 感想(初めて知ったことなど)を伝えようしたり、話し手が調べたことを落とさないよう粘り強く聞いたりし、互いの文章のよいところを見つけることができる。 【主体的な学習態度】</p> <p>ウ 本時の学びを自分の言葉で内省できているか。 【主体的な学習態度】</p>

指導計画 (本時 5 / 5)

- 「じどう車ずかん」の作り方を話し合うを通して、学習の見通しをもつことができる。
- 本や図鑑などを使って、紹介したい自動車の「しごと」について調べ、分かったことを書き、文にまとめる。
- 本や図鑑などを使って、紹介したい自動車の「つくり」について調べ、分かったことを書き、文にまとめる。
- 説明の順序に気を付けながら、「じどう車しょうかいカード」を書く。
- 「じどうしゃずかんをつくろう」を紹介し、感想を伝え合い、自分の文章のよいところに気付く。

研究の視点に関する活動について

視点1 個別最適な学びを充実させる取組	視点2 協働的な学びを充実させる取組	視点3 遠隔合同授業の体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> 自分が「すきだな。」「かっこいい。」と感じた自動車を自由に選ぶことができるようになる。 学校図書館などにある、本や図鑑を準備する。本や図鑑によつては、「しごと」や「つくり」が捉えやすいものや捉えにくいものもある。個々の課題に応じた本や図鑑、個に応じたワークシート等を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じような自動車を選んだ児童でグループをつくり、児童が他者と協働しながら取り組めるようなグループにし、児童どうしが自由に話し合いができるような空間や時間を確保する。 話型を使って、説明したり感想を伝え合ったりできるようにする。 グループごとのMeetを活用することで、児童の発言の機会をふやすことができるようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業前に、See-smileを活用して、単元計画やワークシートを共有し、同じ指導感で進める。 単式学級(母間・花徳)のよさを生かし、指導者が常にグループにいる状態にする。

本時の指導にあたって

「つかむ・見通す」過程では、学習の見通しをもたせるため、これまでに書き上げた「じどう車しょうかいカード」を提示しながら、発表会をすることを伝える。

「深める」過程では、個別最適な学習の手立てとして、それぞれが調べたことをそれぞれのペースで発表できるように支援を行う。また、感想を述べる時間も、できるだけ多くの児童が発言できるように、発言シートを準備しておく。また、一人一人の発表の様子を見取り、適宜よいところを紹介するなどの指導を行い、児童の意欲を高める。

「まとめる・ひろげる」過程では、授業の始めにたてた「めあて」に達成できたかを各自でふりかえる。また、振り返るなかで、学習して分かったことやいいなと思ったことなど、児童同士で共有することで今後の作文学習への意欲を高められるようにする。

本時の実際 (5 / 5)

過程	学習活動の流れ	時間	指導上の留意点
			○教師の手立て ★評価 ★ICT 機器活用
導入	<p>1 単元の目標と学習計画を確かめる。(全体)</p> <p>2 学習の流れを確認し、本時のめあてをたてる。</p> <p>「じどう車しようかいカード」をしようかいし、かんそうをつたえあい、いいところをみつけよう。</p> <p>3 発表会の流れを確認する。</p> <p>(1) 1人目が「じどう車しようかいカード」を見せながら、調べた自動車の「しごと」と「つくり」を紹介する。</p> <p>(2) 聞き手は質問をしたり、初めて知ったことや感想を伝えたりする。</p>	10	<p>★ 事前に各校の児童が書いた自動車についてのワークシートを共有しておく。</p> <p>○ ワークシートを共有することで、同じ指導感で指導することができるようになる。</p> <p>★ 授業者が画面共有を行い、単元の目標や学習計画を確かめられるようにする。</p> <p>○ 本時は、各自で調べた車の「しごと」と「つくり」について説明し、互いに質問をし合う時間であることを伝える。</p> <p>○ グループでの話し合いを確認する。今回はグループごとの Google Meet を使用するため、グループの場所も確認をする。①目標の明確化</p>
展開	<p>4 グループで発表会をする。(グループ)</p> <p>きゅうきゅう車は、けがをした人や、びょうきの人をびょういんへはこぶしごとをしています。 そのために、うんてんせきのうしろはベッドがいれられるようになっています。 けがをした人のところへはやくいくために、サイレンもあります。</p>  <p>○○さんがしようかいした車について、初めて知ったことや、すごいなと思ったことなど、分かりやすいなと感じたところなどをおしえてください。</p> <p>○ ベッドがそのまま入れられるようになっていて、すごいなとおもいました。 ○ けがをしてうごけなくとも、きゅうきゅう車がはこんでくれるから、いいなとおもいました。 ○ びょういんへはやくはこぶために、サイレンがあることをはじめてしました。 ○ 「しごと」と「つくり」がじゅんぱんにかいてあってわかりやすかったです。</p> 	30	<p>★ Google Meet(グループ)を使用する。</p> <p>○ 大きく、はつきりとした声で紹介することで、より伝わることを確認する。②山場の工夫</p> <p>○ 発表の様子が分かるように、指導者同士で記録を残すことで、学習の振り返りや評価に役立てる。</p> <p>○ 指導者が質問のしかたや考え方を必要に応じて支援する。</p> <p>○ 「しごと」と「つくり」の観点に沿って聞くことができているか、質問をして確かめる。</p> <p>○ 児童の様子を見取り、伝え方が上手な児童を適宜紹介することで、児童の意欲を高める。</p> <p>○ 紹介する中で、言葉を詳しくしている児童は、「○○という言葉があるからわかりやすいですね！」と称賛すると、国語の言葉の味方・考え方を働きかせる素地をつくる。</p> <p>※ 自分が書いた「じどう車しようかいカード」を事柄の順序に気を付けながら紹介しようとする。【イ】</p> <p>※ 感想(初めて知ったことなど)を伝えようとしたり、話し手が調べたことを落とさないように粘り強く聞いたりしているか。【ウ】</p>
	<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろなしごとがあるんだなとおもいました。 大きなこえで、はっぴょうをすることができました。 しらべた車を、「しごと」と「つくり」にわけてかくことができました。 ○○さんに、『くわしくせつめいできていて、すごいね。』といってもらえてうれしかったです。 ほかのおともだちのしようかいカードも見てみたいですね。 	5	<p>★ 全体 Meet に戻り、学習のまとめと振り返りを行う。</p> <p>○ ふりかえりサインで本時のふりかえりを表現する。</p> <p style="text-align: right;">③確かめ・見届け</p> <p>※ 本時の学びを自分の言葉で内省できているか。【ウ】</p>

評価

- イ 自分が書いた「じどう車しようかいカード」を事柄の順序に気を付けながら紹介しようとする。
- 【思考力・判断力・表現力】
- ウ 感想(初めて知ったことなど)を伝えようとしたり、話し手が調べたことを落とさないように粘り強く聞いたりし、互いの文章のよいところを見つけることができる。
- 【主体的な学習態度】
- ウ 本時の学びを自分の言葉で内省できているか。
- 【主体的な学習態度】